



第7回ESGファイナンス・アワード・ジャパン 金融部門の御紹介

↓募集要項・応募申請書はこちら↓



ESGファイナンス・アワード・ジャパン 金融部門の概要



- 環境省では、ESG金融の普及・拡大に向け「ESGファイナンス・アワード・ジャパン」を令和元年度に創設しました。
- 金融部門では、**ビジネスモデルを持続可能なものへと移行することを支え**、環境・社会・経済に対して**インパクトを与える取組を促進する投資家、金融機関、金融サービス事業者**及びそれら資金を活用する**資金調達者**について、企業規模に関わらずインベストメント・チェーンにおける役割に応じて**優れた組織や先進的な取組、他の模範となるような取組などを評価・表彰**します。
- 金融部門は、①投資家部門（アセットオーナー、アセットマネージャー）、②間接金融部門、③資金調達者部門、④金融サービス部門（証券、保険、評価・情報提供）の4部門7業種に分かれています。
- 金融部門の賞の種類には、金賞・銀賞・銅賞、特別賞、3種のテーマ別賞があります。

表彰部門
① 投資家部門
② 間接金融部門
③ 資金調達者部門
④ 金融サービス部門
⑤ 環境サステナブル企業部門

〈参考〉ロゴマーク(イメージ)



賞の種類		
環境大臣賞 選定委員長賞	金賞	■ 総合的・包括的な視点で高い水準にある優れた取組
	銀賞	
	銅賞	■ 独自性・新規性や企業規模に照らして優れた取組、取組は浅くとも特色あるユニークな取組
	特別賞	
	テーマ別賞	■ ネット・ゼロ（NZ）賞
		■ ネイチャーポジティブ（NP）賞
		■ 循環経済/サーキュラーエコノミー（CE）賞

金融部門 賞の種類

■ 各賞の特徴（多様な観点からの表彰）

- 金・銀・銅賞は総合的・包括的な視点で高い水準にある優れた取組を評価
- 特別賞・テーマ別賞ではキラリと光る独自性・新規性や、企業規模に照らして優れた取組、ESG金融への取組歴の浅い応募者における特色のあるユニークな取組を評価

賞の種類		贈賞数	備考
金賞・銀賞 (環境大臣賞) 銅賞 (選定委員長賞)	✓ 応募者の組織的及び商品・サービスにおける取組を総合的に評価して高い水準の取組を評価	部門ごとに： 金 1社程度 銀 1～2 社程度 銅 1～2 社程度	より充実したフィードバックが受けられる ● 応募者は環境省ウェブサイト に社名を掲載
特別賞 (選定委員長賞)	✓ 応募者の特定の取組が先進的あるいは特徴的 ✓ <u>企業規模に照らして優れた取組み</u> ✓ <u>取組は浅くとも特色のあるユニークな取組</u>	部門ごとに： 1 社程度	簡易応募が可能 ● 受賞者は環境省YouTubeで取組紹介動画を掲載 ※いずれも希望制
テーマ別賞 (選定委員長賞)	ネット・ゼロ（NZ）賞 ※ <u>適応への取組を含む</u> ネイチャーポジティブ（NP）賞 循環経済/サーキュラーエコノミー（CE）賞	部門に関わらず 各賞1社程度	

- 複数主体から同一の取組事例に関する応募申請がなされた場合、連携した取組事例として連名で表彰する場合があります
- 選定の結果、各賞について表彰企業・団体がない場合があります

■ 簡易応募

- 応募方法には「一般」と「簡易」の2通りがあり、特別賞・テーマ別賞は簡易応募が可能

■ 連名応募

- 国内に拠点をもたない海外企業との連携や地域内ステークホルダーとの連携、関連会社との連携など、協働して取組みを行っている場合は、連名での応募が可能

■ フィードバック

- 応募者にはより充実した書類審査のフィードバックを提供

■ 広報効果

- 応募者名の公表：参加することで、ESGに積極的に取り組む姿勢を対外的に示せる
- 受賞者の取組紹介：表彰式や公募説明会における登壇等の他、環境省YouTubeへ取組紹介動画を掲載できる

金融部門の構成



部門名	サブ部門	想定応募者	表彰すべき内容概要
投資家	アセットオーナー	アセットオーナー（公的年金、企業年金、生命保険会社等）	自らの理念、行動原則、投資方針等を踏まえ、投資サイクル全体でESG投資を推進し、環境・社会に対してポジティブなインパクトを与えていると想定される取組
	アセットマネージャー	アセットマネージャー（資産運用会社、プライベートエクイティ等）	資産運用・エンゲージメント（議決権行使を含む）においてESG要素を組み入れるとともに、ポジティブなインパクトの創出を意図して実践している取組
間接金融	—	銀行、信用金庫、信用組合、農林系金融機関、リース会社、信用保証協会等	ESG要素の考慮による取引先の価値向上や金融・非金融の取組を通じて、産業の競争力強化や地域循環共生圏の構築等に資するポジティブなインパクトを創出している取組
資金調達者	—	企業、銀行・金融機関、地方自治体、政府系機関等 ※銀行・金融機関に関しては、市場からの資金調達が対象。申請は資金調達者単位を想定。	ポジティブなインパクトの創出を目的とした取組の資金調達において、ESG関連の債券や融資等を活用し、関連市場の拡大に貢献している事例や資金調達者の取組
金融サービス	証券	証券会社、銀行等金融機関（発行支援、引受、債券・投信販売等）等	ESG投資の拡大に貢献する債券等の発行支援や引受、金融商品の販売等により、環境・社会へのポジティブなインパクトを創出すると期待される事業や企業等への資金供給を促進している取組
	保険	損害保険会社、少額短期保険会社等	顧客のESG要素を考慮した取組を促進するとともに、環境・社会へのポジティブなインパクトの創出に貢献する保険商品・サービスの提供及び関連する取組
	評価・情報提供	評価機関（ESG格付評価、GHG排出量評価・カーボクレジット認証等を含む）、情報サービス・インフラ提供者（企業ESG情報、カーボン・気候変動適応・ネイチャー・自然関連データ提供者、サプライチェーン環境データ提供者等を含む）、NPO・NGO、各業界団体、コンソーシアム等	ESG金融に関する情報・サービスの提供（有償・無償を問わず）により市場における情報の非対称性の緩和と関連市場の拡大に寄与している取組

（注）フィナンシャルグループ等持株会社による申請は、資金調達者部門を除き、原則として受け付けておりません。取組の主体となる傘下の個社ごとにご提出ください。
持株会社は、環境サステナブル企業部門への応募をご検討ください。また連名での応募も可能です。



- 選定委員会は、学識経験者及び環境金融関連の有識者で構成されます。

(敬称略)

<委員長>	
北川 哲雄	青山学院大学 名誉教授 東京都立大学 特任教授
<委員> (五十音順)	
荒井 勝	NPO法人日本サステナブル投資フォーラム 会長
江夏 あかね	野村資本市場研究所 野村サステナビリティ研究センター長
竹ヶ原 啓介	政策研究大学院大学 教授
夫馬 賢治	株式会社ニューラル 代表取締役CEO、信州大学グリーン社会協創機構 特任教授
安井 友紀	Glasgow Financial Alliance for Net Zero アジア太平洋ネットワーク マネージング ディレクター
家森 信善	神戸大学経済経営研究所 教授

審査項目・審査基準について（一般応募）

- 日本の金融市場において環境・社会へのインパクトを創出するようなESG金融の取組の拡大・普及とその質の向上につなげるとの観点から、①目標・戦略・フレームワーク、②透明性、③体制・実績、④インパクト、⑤新規性・波及性の5つの審査項目を設定しています。
- 5つの審査項目に沿って、インベストメント・チェーン上で求められる役割を踏まえ、部門・サブ部門ごとに審査基準を策定しています。詳しくは、募集要項7.（3）を御覧ください。
- 5つの審査項目の中でも、①目標・戦略・フレームワーク、④インパクト、⑤新規性・波及性は、採点時に重視されます。
- 一般応募では、応募者の組織的および商品・サービスにおける取組を、インベストメント・チェーンにおける役割に応じて総合的・包括的に評価し、高い水準にある優れた取組を表彰します。応募する取組内容には、必ずE（環境）の要素が含まれているものとしてください。
- 部門によって、代表的な商品・サービス等の具体的な事例を記載していただく箇所があります。応募する取組内容については、中核的な部分において公開可能なものとしてください（受賞決定後、受賞理由等で公表可能な一部の内容について公表を行う予定です）。

主な審査項目（概要）



審査項目	概要
<u>目標・戦略・フレームワーク</u>	■ 事業や取組、プロジェクトが、ESG金融の拡大や環境・社会に対してポジティブなインパクトを与えることを意図してはじめられており、中/長期目標に基づく戦略および実効性のある取組計画が設定されている。そのための体制構築や組織内外の連携、実施プロセスが取られている。 ■ 取組に対する適切な目標・計画を設定し、進捗状況を開示している。 ■ 第6次環境基本計画を踏まえ、気候変動対策、循環経済、ネイチャーポジティブ等の実現に資する投融資の拡大を図っている。また、これらの同時達成に向けた統合的な資金の流れを生み出している。 ■ 第6次環境基本計画を踏まえ、支援の必要な中堅・中小企業に対し、伴走支援を通じたサステナビリティ経営への貢献や普及啓発を行っている。又は、個人・消費者に対し、将来にわたって「ウェルビーイング／高い生活の質」をもたらすようなESG投資・金融の普及啓発を行っている。
透明性	■ 実施プロセスでは、その実施事項や評価に関する情報が適切に説明・開示され、必要に応じて第三者機関等からの認証を受けるなど透明性が担保されている。 ■ 中/長期の目標や取組計画に対する進捗が適切に説明・開示されている。
体制・実績	■ 中/長期の目標を達成するための経営層のコミットメント及びそれを実現するためのPDCA体制が確認できる。 ■ 実績として、ESG金融に関連する取組数、投融資金額、投融資割合、エンゲージメント件数等が多い。又は、伸長している。 ■ ESG金融の普及促進・ポジティブインパクト創出に向けたステークホルダー・エンゲージメントを組織として行っている。 （例：政策提言や政府への働きかけ（アドボカシー）、鍵となる地域の関係者の巻き込みや協働） ■ ESG金融やインパクトファイナンス実践のために組織内の人材開発を行っている。
<u>インパクト</u>	■ 環境や社会^{（注）}に対してポジティブなインパクトを与えることを意図しているとともに、他の環境に関する事項や社会に対して、大きなネガティブなインパクトを及ぼしていないことを確認している。また、その意図したインパクトの測定、管理を行っている。 ■ そのインパクトは、その取組（サービス提供、資金供給等）が行われなければ発生しないものであり、取組が行われたことで発生している。（追加性） ■ 把握されたインパクトを報告・開示している。 （注）環境と社会の双方にポジティブなインパクトがあり得る例には、地方創生、地域経済の多様化・地域活性化、防災・減災強化や交通インフラなど持続可能なまちづくり、コミュニティの強化、持続可能な食料供給、心理的・身体的な健康増進、質の高い医療・福祉サービスの提供などをはじめ、環境保全と生活の質の向上に資する多様な活動が挙げられる。なお、これに限らない。
<u>新規性・波及性</u>	■ 実施プロセス等において、市場に対する新規性や独自性があり、他社の取組と比較して利点がある。 ■ 取組が自社にとって新たな挑戦であり、今後の当該企業の行動様式にポジティブな影響を与えることにつながる。 ■ 従来の課題を克服しており、裾野の拡大に寄与している。（チャレンジ性）

特別賞・テーマ別賞について／選定の視点

- 本アワードでは、企業規模に照らして優れた取組や、重要な環境課題の解決に貢献している個別の優良な取組に焦点を当てるため、特別賞及びテーマ別賞を設けています。
- いずれの賞も、金賞、銀賞、銅賞との重複受賞とはなりません。
- 特別賞・テーマ別賞のみにエントリーが可能な方式（簡易応募）を設けています。

賞の種類		選定の視点
特別賞		✓ 応募者の特定の取組が先進的あるいは特徴的であると認められる ✓ 企業規模に照らして限られたリソースで優れた取組を行っている ✓ <u>初めて本アワードに参加する等のESG金融への取組歴が浅い応募者ではあるが、特色のあるユニークな取組を行っている</u>
テーマ別賞	ネット・ゼロ（NZ）賞	① 温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させることに貢献している ② 温室効果ガスの排出量削減に向けて、革新的な技術やサービスを開発している ③ 気候変動への適応に向けた革新的な技術やサービスを開発している （参考資料）環境省「金融機関向け適応ファイナンスのための手引き」令和3年3月
	ネイチャーポジティブ（NP）賞	① 2030年までに生物多様性の損失を食い止め、反転させ、回復軌道に乗せるという世界目標に貢献している ② 自然資本を守り、維持・回復を目指して取り組んでいる ③ ビジネスにおける生物多様性への影響評価・情報開示の促進に貢献している
	サーキュラーエコノミー（CE）賞	① 資源・製品の価値の最大化、資源消費の最小化、廃棄物の発生抑制等を目指すことに貢献している ② 資源投入量・消費量を抑えつつ、ストックを有効活用しながらサービス化等を通じて付加価値を生み出すことを目指している

■ 賞の種類

● カーボンニュートラル賞をネット・ゼロ賞に名称変更。

- 従前、カーボンニュートラルという用語を用いてきたところ、国際的な文脈においては、ネット・ゼロと表現することが一般的であることを踏まえ「ネット・ゼロ」を用いることとしました。
- いずれも基本的な意味は同じと認識されます。

■ 応募方法等

● 応募方法をウェブエントリー方式から電子メールエントリー方式へ変更。

- ウェブエントリーを選択しない応募者が少なからずあったこともふまえつつ、より記入が楽になるように、MSエクセル形式の様式とし、自動計算欄やチェックボックスを設置して工夫しました。

● 希望する応募者については、応募者名を環境省ウェブサイト上に掲載。

- ESGへの取組を積極的に実践し、その内容をもって本アワードへ参加していただいた方々の取組姿勢を称えるものであり、**参加することでESGに積極的に取り組む姿勢を対外的に示せます。**
- 応募時と結果発表前に希望を確認します。

■ 審査項目・審査基準の改定

●（全部門）

「インパクト」において、環境と社会の双方にポジティブなインパクトへの審査の視点を明確化。

●（アセットオーナー部門、アセットマネージャー部門、間接金融部門、証券部門、保険部門）

「新規性・波及性」において、金融経済教育の取組におけるESG関連の内容を追加。

●（資金調達者部門）

「新規性・波及性」において、他社のグリーン化に寄与する事業（イネープリング機能の発揮）も含むことを明記。

●（証券部門）

引受等業務を実施していない場合の適用除外を追加し、販売業務のみでも応募しやすいように変更。
「体制・実績」において、実績の多寡のみならず伸長の基準を明記。

●（評価・情報提供部門）

想定応募者の対象を多様な評価機関やデータプロバイダーに拡大。
「透明性」において、現状の取組とともに透明性向上の取組に関する基準を追加。
「体制・実績」において、実績の多寡のみならず伸長の基準を明記。

- 「特別賞」の審査の視点に、「初めて本アワードに参加する等のESG金融への取組歴が浅い応募者ではあるが、特色のあるユニークな取組を行っている」を追加。

審査結果のフィードバック

- 表彰式後に、応募企業に対し、書類審査のフィードバックを提供します。
- 一般応募では、審査項目ごとの比較評価レーダーチャートや、レベルアップに向けた改善点を示唆するコメントが含まれます（フィードバックの充実）
- 受賞企業には、選定委員会による講評（表彰理由）が付されます。

【評価比較レーダーチャート】

- ・「目標・戦略・フレームワーク」「透明性」「体制・実績」「インパクト」「新規性・波及性」の5つの審査項目について表示
 - ・ 自社、受賞企業、部門平均の得点率を表示。自社過年度得点との比較も可能になる予定
- ⇒ 継続的に応募することで、フィードバックが得られ、取組みレベルの向上が可視化

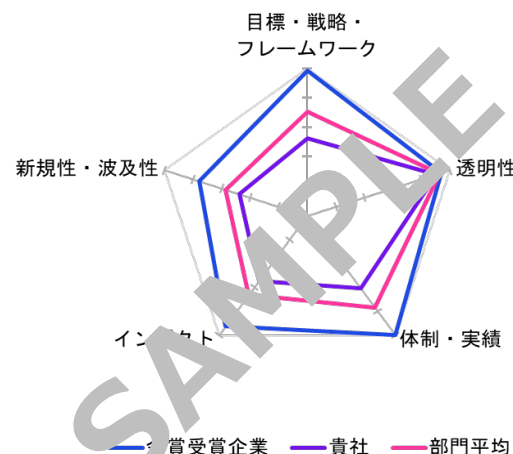
【評価結果コメント】

- ・ 一次審査の評価コメント（書類審査結果に基づき改善が推奨される点など）が示唆されます
- ・ 受賞企業には、選定委員による講評が付されます

ABC社 御中

この度は第6回ESGファイナンス・アワード・ジャパン金融部門「アセットオーナー部門」へご応募いただき誠にありがとうございました。

貴社の1次審査結果をフィードバックいたします。今後のお取り組み改善の御参考となれば幸いです。



今年度のアセットオーナー部門における貴社のスコアポジションは上記の通りでした。

【透明性】では、〜〜が高く評価されていました。

【目標・戦略・フレームワーク】では、他社に比して〜〜のスコアが低めでした。〜〜が望まれます。

【体制・実績】では、他社に比して〜〜のスコアが低めでした。〜〜が望まれます。

応募申請書（サンプルイメージ）



表紙

令和7年 月 日

第7回ESGファイナンス・アワード・ジャパン応募申請書 (投資家部門：アセットオーナー部門)

以下の「個人情報の取り扱いについての確認事項」に同意の

【個人情報の取り扱いについての確認事項】

- 御記入いただいた個人情報は、当社の「個人情報保護方針」(https://www.murc.jp/privacy/)に従って適切に取り扱います。
- お預かりした個人情報は、当社において、本表彰制度の運営及び本表彰制度に関する御連絡、今後の関連イベントのご案内、表彰制度企画の参考の目的に限って利用し、厳重に管理いたします。
- お預かりした個人情報は、法令等に基づく場合を除き、ご本人の同意なく第三者には提供いたしません。ただし、当社業務の委託元である環境省とは共有させていただきます。
- お預かりした個人情報は、業務委託により当社以外の第三者にその取り扱いを委託する場合がございます。そうした場合には、十分な個人情報保護の水準を備える者を選定し、契約によって個人情報の保護水準を守るよう定め、個人情報を適切に取り扱います。
- お預かりした個人情報の開示、訂正、利用停止等若しくは利用目的の通知の御請求、又は個人情報に関する苦情のお申し出、その他のお問合せにつきましては、下記までご連絡ください。

【お問い合わせ先（事務局）】

ESGファイナンス・アワード・ジャパン（金融部門）事務局
三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 サステナブルビジネス戦略センター
担当：小豆島（あずしま）、正垣（しょうがき）、奥野
E-mail: esgf-award-kinyu@murc.jp
Tel: 03-6733-1290（祝日を除く月～金の 10:00～17:00）

1. 応募者概要

1. 応募者概要

企業・団体	企業・団体名（日本語）※	
	企業・団体名（英語）	
	直近年度決算期	年 月
	期末従業員数（人）	
	総資産（百万円）	
担当者	直近年度売上高（百万円）	
	氏名(ふりがな)	
	所属部署	
	役職	
	電話番号	
連名の場合	E-mail	
	社名1	
	社名2	
	社名3	

※フィナンシャルグループ等持株会社による申請は、原則として受け付けておりません。詳細は募集要項をご確認ください。

・ 応募申請日を記入してください

・ 御応募（書類到着）を以て同意とみなします

・ 必要事項を漏れなく記入してください

2. 応募する取組等の名称

※ 取組の内容を踏まえて、提案事業の名称を記載してください。

・ 記述式

3. ① 希望する応募方式

- ☐ 一般応募
☐ 簡易応募（特別賞・テーマ別賞のみを目指す方向け）

※一般応募の場合は、1. ～ 5. のみ記入してください。（「6. 簡易応募」は既に記載の事項と重複します。）

また、一般応募を選択した場合は、自動的に特別賞・テーマ別賞の審査対象にも含まれます。

※簡易応募の場合は、「4. 基本的事項の確認」に回答した後、5. を省略し、「6. 簡易応募」の項目へ進んでください。

※なお、簡易応募の場合でも、ここをクリックして5. の人材開発アンケートにご協力ください（審査対象外）。

・ チェックボックス式

・ 一般応募/
簡易応募の
記入方法

3. ② 参加者一覧への社名掲載の希望

希望する応募者については、応募者名を環境省のウェブサイト上での「参加者一覧」に掲載していただき、その内容をもって本アワードへ参加していただいた方に希望を確認いたします。

現時点で、環境省ウェブサイト上での「参加者一覧」への社名掲載を希望しますか？

- ☐ 希望する
☐ 希望しない
☐ わからない

・ 人材開発アンケートにご協力ください

3. ③ 当アワードへの参加経験

当アワードへの応募は何回目ですか？

- ☐ 初めて
☐ 2～4回目
☐ 5～7回目

2. 応募する取組等の名称
3. 応募方式等の各種確認事項
4. 基本的事項の確認
～ここまでは全応募者作成必須～

4. 基本的事項の確認

① 自社・自団体および子会社等において、法令違反や重大な懸念事項を有していないことを確認していますか。
※前年度、今年度において、監督官庁による行政処分を受けていないこと。また、法令違反や重大な懸念事項が生じていないことが応募要件です。詳細は募集要項の6. (2) 応募対象・資格をご確認ください。

- ☐ 確認している
☐ 確認していない

※なお、応募申請書提出後に上記に該当する事案が発生した場合は、すみやかに事務局までご申告ください。

② 財務の健全性確保や、法令違反や重大な懸念事項を回避するためのガバナンス体制を構築していますか。

- ☐ 構築している
☐ 構築していない

構築している場合は、そのガバナンス体制について記載してください。

※レポートやウェブサイト等で情報を公表済み場合は、情報の所在（レポート名とページ番号、URL等）の記載のみで構いません。

応募申請書（サンプルイメージ）



5. 取組内容

<一般応募用です>

募集要項に記載の「表彰対象となる取組の概要」を踏まえて、応募する取組内容について記載してください。

※ 応募内容は、“E”（環境）を中心に記載をお願いいたします。全体（表紙含む）で20枚程度としてください。

※ レポートやウェブサイト等で情報を公表済みの場合は、情報の所在（URL、レポート名・ページ番号等）の記載のみで構いません。

【目標・戦略・フレームワーク】

① 自らの理念、行動原則、投資戦略等がありますか。また、それらを踏まえて設定してください。

・ 部門・サブ部門ごとの
審査基準に沿った設
問となっています

① 等) 等の策定で、どのよう
投資戦略、実効性のある

・ 参考情報へのリン
クがあります

（注1）環境・社会・経済に対しどのようなポジティブインパクトを発現・増大していくのかという狙いのこと。詳細は環境省「インパクトファイナンスの基本的考え方」2020年7月（<http://www.env.go.jp/press/files/jp/114284.pdf>）をご参照ください。

（注2）環境・社会関連の目標あるいはサステナブルファイナンスに関する目標を記載してください。また、中期目標、長期目標の両方（ある場合）を記載してください。

- ・ 記入欄に文字を記入すると、色が変わります。
- ・ 欄外で、記入文字数が確認できるようになっています（目安）。

- ・ レポートやウェブサイト等で情報を公表済みの場合は、情報の所在（URL、レポート名・ページ番号等）の記載のみで構いません

応募申請書（サンプルイメージ）



⑦c. 運用状況については外部のレビュー/第三者の評価※を受けていますか。

※外部のレビュー/第三者の評価の例：PRIの年次評価等。

- ☐ 受けている
- ☐ 受けていない

"受けている"場合は以下を記載してください。

外部レビュー/第
三者評価者名：
スコア及び評価：
開示先※：
URL：

※開示先には、該当箇所がわかるようにページ数等を記載してください。

a. ESG関連の金融商品の販売実績：

項目名	2023年度	2024年度	2025年度 (9月末まで)	合計 (自動計算)
(i) ESG関連商品 販売額（億円）				
(ii) ESG関連販 売件数				-
(iii) 全体の金融 商品販売額（億 円）※評価対象外				
全体販売額に占め るESG関連商品 販売額の割合(自 動計算)	いiiiに入力すると 表示されます	いiiiに入力すると 表示されます	いiiiに入力すると 表示されます	自動表示されます

・ 自動計算式を設定して
あります（記入欄自体
を編集された場合はご
注意ください）

個別事例リスト（開示先URLでも可）

	名称	金額（億円）
2023年度		
2024年度		
2025年度 (9月末まで)		

・ 実績入力欄は、不足する場合に行
の追加や複製（コピー＆ペースト）
等の編集が可能です

※不足する場合は行を追加してください。

・ 記入事項のガイドがある場合
は、これに沿ってください

- ・ **【お願い】途中、ESG人材開発に関するアンケートを設けています。回答にご協力ください（評価対象外）**
 - a. ESGへの取組実践にあたり、人材開発にどのように取り組んでいますか（複数回答可）
 - b. 自組織に求められるESG人材（最も求めているものを1つ）
 - c. 自組織に求められるESG人材の専門性（最も求めている分野を1つ）
 - d. ESGへの取組が、新卒・中途採用や人材流出防止に寄与していますか（最も当てはまるものを1つ）
 - e. ESG人材開発における主な課題（複数回答可）
- ・ **アンケート結果は、個別の回答者が特定されない形でとりまとめ、公表させていただく予定です**

受賞者の取組紹介（動画の掲載）について

- 受賞者には、表彰式や公募説明会における登壇等の他、**環境省YouTubeへ取組紹介動画を掲載**して取組をアピールできる機会が提供されます（希望者のみ・動画作成は受賞者による）。



ESGファイナンス・アワード・ジャパン取組（北川委員長メッセージ）

kankyosho
チャンネル登録者数 2.77万人

35 回視聴 5 日前
第6回ESGファイナンス・アワード・ジャパンにて委員長を務めていただきました北川哲雄氏からのメッセージとなります。今までご応募いただいていた方やこれからの応募を検討されている方々に向けたメッセージとなっておりますので、ぜひご覧いただき、ご応募の参考になれば幸いです。...もっと見る

選定委員長メッセージや過年度受賞者の取組も是非ご覧ください。

<https://www.youtube.com/playlist?list=PL9Gx55DGS7x400NTZmoT9IRdnLqJX8QCJ>

■ 募集開始に関する環境省報道発表：

https://www.env.go.jp/press/press_00707.html

■ 募集期間：令和7年9月16日（火）～令和7年10月31日（金）17時



（募集要項・応募申請書）

■ 応募方法：

- 環境省のウェブサイト（上記）から募集要項や応募申請書等をダウンロードし、応募要件等をよく確認の上で、応募される部門の応募申請書に必要事項を記入してください。
- 応募申請書類は、電子メールにて事務局へ提出してください。
- メールの件名には、「ESGファイナンス・アワード・ジャパン（金融部門）応募書類」等、金融部門への応募であることを明記してください。



【お問い合わせ】

ESGファイナンス・アワード・ジャパン（金融部門）事務局：

三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社

サステナブルビジネス戦略センター 小豆島、正垣、奥野

E-mail : esgf-award-kinyu@murc.jp

Tel : 03-6733-1290（祝日を除く月～金の10:00-17:00）